

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日
上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社
コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 光廣
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 川上 浩生 TEL 06-6346-5221
四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	36,764	△12.0	2,584	△27.7	2,564	△30.4	1,592	△35.0
28年3月期第1四半期	41,762	△7.3	3,575	32.1	3,682	22.2	2,450	29.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 473百万円 (△82.3%) 28年3月期第1四半期 2,672百万円 (23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	36.77	—
28年3月期第1四半期	56.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	190,162	142,040	70.5
28年3月期	200,436	143,089	67.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 134,120百万円 28年3月期 134,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	35.00	45.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,000	△13.7	5,200	△26.4	5,000	△31.3	3,000	△33.3	69.29
通期	145,000	△9.9	10,400	△24.6	10,000	△29.4	6,200	△26.8	143.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	44,898,730株	28年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,593,255株	28年3月期	1,608,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	43,293,213株	28年3月期1Q	43,459,341株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。しかし中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気減速、英国の欧州連合（EU）離脱などの影響も懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループの主要需要先である建設用鋼材市場では、建築・土木分野とも需要は低調に推移しました。当社グループは製造コスト削減の取り組みを継続しつつ、需要に見合った生産・販売に徹して製品価格維持に努めました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比4,998百万円（12.0%）減収の36,764百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比991百万円（27.7%）減益の2,584百万円、連結経常利益は同1,119百万円（30.4%）減益の2,564百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同858百万円（35.0%）減益の1,592百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比0.2万トン減の42.7万トンとなり、うち輸出は前年同期対比1.4万トン増加し3.2万トンとなりました。原材料である鉄スクラップの価格は前年同期対比トン当たり3.9千円（15.3%）下落しましたが、製品価格が同11.4千円（19.0%）とさらに下落したため、利益の源泉となる売買価格差（製品と原材料価格との差額）は7.5千円（21.8%）縮小しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比7,783百万円（25.3%）減収の22,950百万円、営業利益は同1,491百万円（44.0%）減益の1,900百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナム南部拠点であるピナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）とベトナム北部拠点であるキョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC社）の2社が対象です。VKS社については、ベトナム南部市場の鋼材需要が堅調に推移する中、昨年完成した製鋼・圧延一貫ラインも順調に稼働し販売活動も好調でした。またKSVC社については、ベトナム北部市場の鋼材需要も南部同様に堅調であり、製造・販売とも好調に推移しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比2,850百万円（31.3%）増収の11,966百万円、営業利益は同644百万円増益（前年同期は2百万円の損失）の642百万円となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、積極的に高付加価値処理案件獲得に取り組みましたが、競合状況が厳しさを増しており、売上高は前年同期対比58百万円（3.1%）減収の1,785百万円、営業利益は同12百万円（3.2%）減益の363百万円となりました。

④ その他

子会社を通じて土木資材の販売および保険代理店業等を行っており、売上高は前期対比8百万円（10.8%）減収の63百万円となり、営業損失は同4百万円減益（前年同期は4百万円の利益）の1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7,096百万円（6.8%）減少し、97,584百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が873百万円増加し、現金及び預金が380百万円、有価証券が5,868百万円、商品及び製品が1,517百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,177百万円（3.3%）減少し、92,578百万円となりました。これは、建物及び構築物が576百万円、機械装置及び運搬具が1,923百万円、投資有価証券が632百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10,273百万円（5.1%）減少し、190,162百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7,607百万円（20.4%）減少し、29,619百万円となりました。これは、短期借入金が4,129百万円、未払法人税等が1,832百万円、流動負債その他が1,405百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,618百万円（8.0%）減少し、18,503百万円となりました。これは、長期借入金が1,745百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9,224百万円（16.1%）減少し、48,122百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,049百万円（0.7%）減少し、142,040百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,592百万円、剰余金の配当1,521百万円、その他有価証券評価差額金の減少465百万円、為替換算調整勘定の減少421百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の67.3%から、70.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、前年同期対比では減収減益となったものの、海外鉄鋼事業において、ベトナムの連結子会社（VKS社、KSVC社）が、同国の堅調な需要を背景に計画を上回る業績を上げました。

続く第2四半期連結会計期間（7－9月期）におきましては、国内の建設用鋼材需要は引き続き低調に推移するものと思われませんが、原材料の鉄スクラップ価格は当初の想定を下回る水準で推移していることなどから、国内鉄鋼事業の利益は当初想定を上回る見通しです。海外鉄鋼事業につきましても、旺盛なベトナムの鋼材需要の下、堅調な推移が見込まれます。

このような情勢を踏まえ、平成28年4月28日の「平成28年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を変更いたします。

第2四半期連結会計期間におきましては、夏季定期修理工事に伴うコスト増も見込まれますが、当社グループでは、引き続き需要に見合った生産・販売に徹し、利益確保に努めます。

なお、下期業績予想につきましては、本年10月以降の事業環境を現時点で見通すことは困難であるため、据え置きといたします。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,739	14,359
受取手形及び売掛金	31,934	32,808
有価証券	30,000	24,132
商品及び製品	14,928	13,411
原材料及び貯蔵品	9,691	9,868
その他	3,565	3,152
貸倒引当金	△178	△145
流動資産合計	104,680	97,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,157	17,581
機械装置及び運搬具(純額)	35,110	33,187
土地	25,120	25,060
その他(純額)	1,268	1,344
有形固定資産合計	79,656	77,172
無形固定資産	1,214	1,263
投資その他の資産		
投資有価証券	10,669	10,037
その他	4,281	4,169
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	14,886	14,143
固定資産合計	95,756	92,578
資産合計	200,436	190,162

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,251	8,974
短期借入金	13,525	9,396
1年内返済予定の長期借入金	2,585	2,964
未払法人税等	1,975	144
賞与引当金	714	502
役員賞与引当金	178	35
事業整理損失引当金	110	123
その他	8,887	7,481
流動負債合計	37,225	29,619
固定負債		
長期借入金	17,036	15,292
繰延税金負債	82	234
再評価に係る繰延税金負債	2,592	2,575
役員退職慰労引当金	8	8
退職給付に係る負債	88	90
その他	314	304
固定負債合計	20,121	18,503
負債合計	57,346	48,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	88,546	88,655
自己株式	△2,025	△1,995
株主資本合計	126,529	126,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,312	847
土地再評価差額金	4,974	4,937
為替換算調整勘定	2,229	1,807
退職給付に係る調整累計額	△159	△138
その他の包括利益累計額合計	8,356	7,452
非支配株主持分	8,204	7,920
純資産合計	143,089	142,040
負債純資産合計	200,436	190,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	41,762	36,764
売上原価	35,624	31,491
売上総利益	6,138	5,272
販売費及び一般管理費	2,563	2,689
営業利益	3,575	2,584
営業外収益		
受取利息	65	54
受取配当金	102	100
持分法による投資利益	104	37
為替差益	—	25
その他	38	51
営業外収益合計	309	268
営業外費用		
支払利息	120	269
為替差損	56	—
その他	25	19
営業外費用合計	202	288
経常利益	3,682	2,564
特別利益		
固定資産除売却益	4	111
特別利益合計	4	111
特別損失		
固定資産除売却損	105	100
事業整理損	—	60
その他	10	14
特別損失合計	115	173
税金等調整前四半期純利益	3,571	2,502
法人税等	1,170	694
四半期純利益	2,401	1,808
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△49	216
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,450	1,592

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	2,401	1,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	369	△465
為替換算調整勘定	△97	△891
土地再評価差額金	1	—
退職給付に係る調整額	△2	21
その他の包括利益合計	271	△1,335
四半期包括利益	2,672	473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,764	726
非支配株主に係る四半期包括利益	△92	△254

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	30,733	9,116	1,843	41,691	71	-	41,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	736	-	567	1,303	-	△1,303	-
計	31,469	9,116	2,410	42,995	71	△1,303	41,762
セグメント利益又は損失(△)	3,391	△2	374	3,763	4	△192	3,575

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△192百万円には、セグメント間取引消去67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△259百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	22,950	11,966	1,785	36,701	63	-	36,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	-	409	481	-	△481	-
計	23,021	11,966	2,194	37,181	63	△481	36,764
セグメント利益又は損失(△)	1,900	642	363	2,904	△1	△320	2,584

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△320百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△340百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。